

20日 木曜

ヨシュア



6:15 七日目、朝早く夜が明けかかるころ彼らは起き、同じようにして町の周りを七周回った。この日だけは町の周りを七周回った。
6:16 七周目に祭司たちが角笛を吹き鳴らしたとき、ヨシュアは民に言った。「ときをあげよ。【主】がこの町をあなたがたに与えてくださったからだ。
6:17 この町とそこにあるすべてのものは【主】のために聖絶せよ。遊女ラハブと、その家にもにいる者たちだけは、みな生かしておけ。彼女は私たちが送った使いたちをかくまってくれたからだ。
6:18 あなたがたは聖絶の物には手を出すな。あなたがた自身が聖絶されないようにするため、すなわち、聖絶の物の一部を取ってイスラエルの宿営を聖絶の物とし、これにわざわいをもたらさないようにするためである。
6:19 ただし、銀や金、および青銅や鉄の器はすべて【主】のために聖別されたものである。それらは【主】の宝物倉に入れよ。」
6:20 民はときをあげ、祭司たちは角笛を吹き鳴らした。角笛の音を聞いて民が大声でときをあげると、城壁は崩れ落ちた。そこで民はそれぞれ、まっすぐに攻め上り、その町を攻め取り、
6:21 町のものをすべて、男も女も若者も年寄りも、また牛、羊、ろばも剣の刃で聖絶した。
6:22 ところで、ヨシュアはこの地を偵察した二人の男に言った。「あの遊女の家に行き、あなたがたが彼女に誓ったとおり、その女とその女に連なるすべての者を連れ出しなさい。」
6:23 偵察した若者たちは行って、ラハブとそ

の父、母、兄弟、彼女に連なるすべての者を連れ出した。彼女の親族をみな連れ出し、イスラエルの宿営の外にとどめておいた。
6:24 彼らはその町とそこにあるすべてのものを火で焼いた。銀や金、および青銅や鉄の器だけは【主】の家の宝物倉に納めた。
6:25 しかし、遊女ラハブと、その一族と、彼女に連なるすべての者をヨシュアが生かしておいたので、彼女はイスラエルの中に住んで今日に至っている。エリコを偵察させようとしてヨシュアが送った使いたちを、彼女がかくまったからである。
6:26 ヨシュアは、そのとき誓った。「この町エリコの再建を企てる者は【主】の前にのろわれよ。その礎を据える者は長子を失い、その門を建てる者は末の子を失う。」
6:27 【主】がヨシュアとともにおられたので、彼のうわさはこの地にあまねく広まった。

ヨシュアは勝利の前に、民にその後のことまでも指示しました。主のみわざを信じていたからです。私たちが主にこのように信頼する者でありたいと思います。

またそれは勝利だけが目的ではないことが分ります。ラハブとその家族を救うようにと、信仰による救いの型を示すために指示を出しました。すなわち主の栄光とみこころを表すための勝利なのです。

私たちの人生の戦いも同じです。主に信頼するのは、それが主の栄光のための戦いであるときだけです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

